



私は介護が好きです

ヘルパーステーションだいとう
サービス提供責任者 佐藤 章

在宅での介護に今までの自分が経験したことのない楽しさや不安などを感じて、あっという間に月日が流れていくんだなぁと感じています。私は神戸の出身で、平成13年に姫路の施設で働くこととなり、そこで5年間お世話になり3年前からヘルパーステーションだいとうで、お世話になっています。震災を経験した事がきっかけで介護の仕事をやってみようと思いついたという、ちょっと薄い介護への関心ではありましたが、自分なりにやりがいのある仕事だと思いつき、現在も気持ちだけは前向きでいます。

私たちの訪問介護の仕事を簡単に言いますと、自宅に実際に訪問し入浴の介助や食事、排泄、移動などの身体介護や掃除や洗濯、調理、買い物などの生活援助を行っています。

しかし、介護サービスを提供する場面では、例えば入浴をどうやって行うのか？を考える時に利用者の方の身体状況や浴槽の大きさや深さ、浴槽までの移動など、一つとして同じ事がない状況からお体の状態をご本人や家族、ケアマネジャーや訪問看護師の方等、それぞれの専門職から情報を確認します。その上で安心して入浴ができる方法を検討して行きます。

利用者の方との日々の会話やそれぞれの専門職の方と検討を重ねる事は、私たちにとってもとても大きい財産だと思っています。その方の自宅にお伺いし、ヘルパーとして仕事を行っている額縁の表彰状や記念写真、趣味の部屋や自分ペースの遅い朝食、またその地域の昔話や姫路城の歴史など、自宅にはその方のいろいろな物事があふれていることを感じています。

また、サービスを提供する場合に大切なことは、専門職の方の意見や利用者本人の意見を伺うことに加えて、利用者本人の意思や目標をその方にかかわるすべての人が共有する事だと思います。その事は目標が達成できるために少しだけお手伝いをさせていただき、私たちヘルパーの仕事の在り方のようなものを示していく道しるべにもなっています。

日々の仕事で感じる、利用者や家族の声や気持ちが分かる責任者になりたいという思いを抱きながらもまだまだ未熟な私です。これからも皆様との会話を大切に、ちょっと失敗しご迷惑をかける事もあると思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。
